

「言葉の森」にようこそ（中央階段）

今、好間中学校の掲示が充実しています。特に階段踊り場や図書室前の掲示が秀逸です。まず目を引くのが国語科です。「故郷の詩人 草野心平さん」や「教科書以外で学ぶ詩」、『「言葉の森」にようこそ』など多彩なコーナーが設けられ、生徒の興味や関心を引いています。司書がつくる掲示も一見に値します。新刊図書や自分に合ったジャンルの本などが紹介される豊かな本の世界へ誘います。いずれも手作りの温かさがあり、私たちの心に静かに訴える優しさを感じます。

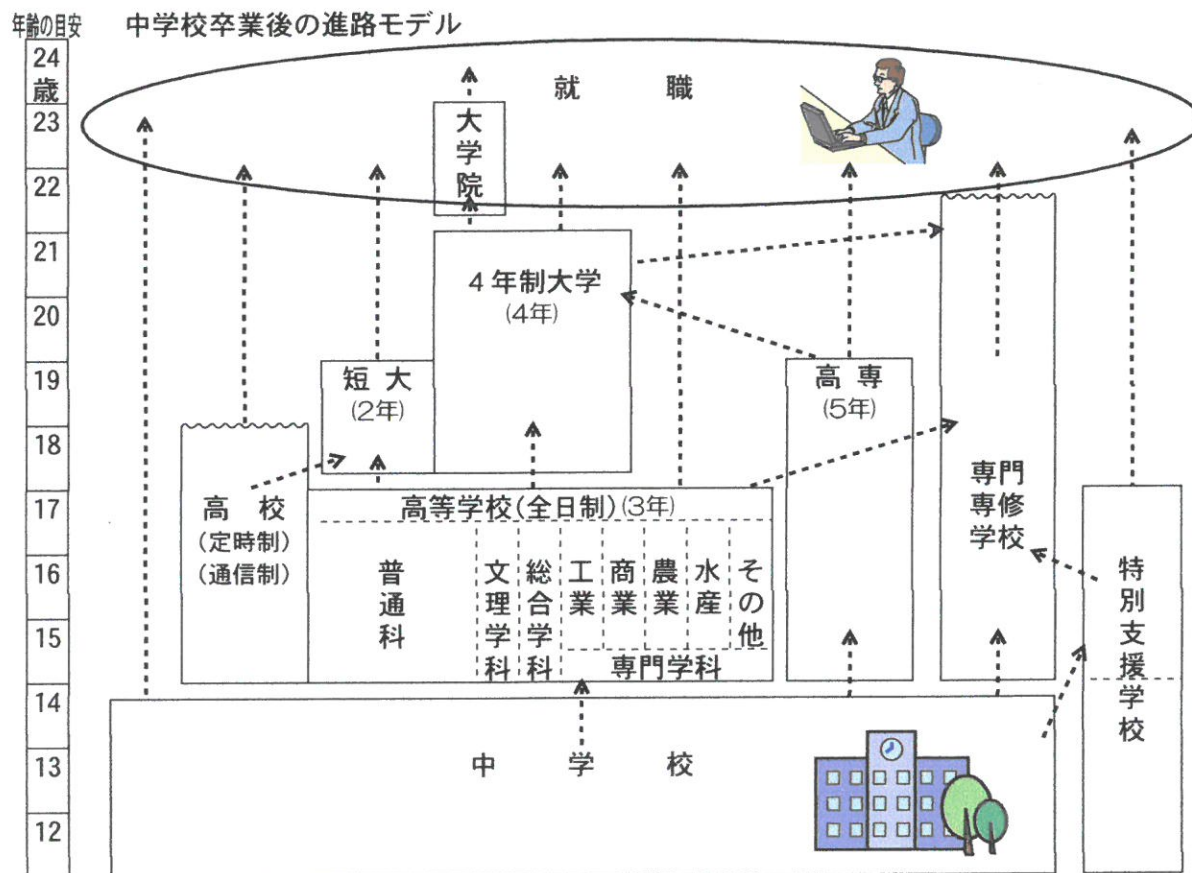
国語科教師や司書の思いは同じなのでしょう。言葉は人の思いを伝え人をつなぎます。言葉や名前を知ることによってその人の世界を広げます。言葉の世界を自分の力で歩き想像力をふくらませることは、刺激的な音や映像に満ちている今だからこそ大切なことなのでしょう。生徒のみなさん。掲示物は少しずつ変化しています。気が付いていますか。保護者のみなさん。来校の際にはぜひ校内の掲示にも目を向けてください。生徒の学びを静かに後押しする小さな窓が設けてあります。

言葉の世界

「中学2年生と進路」③

—君が進みたい道はどれ?—

下図に示したように中学校卒業後の進路は様々です。1年生から卒業まで学級活動の時間や総合的な学習の時間などを通して、自分の夢や適性、様々な職業に就くまでの道筋について学びます。



前号の学年通信では進路実現に向けた中学校3年間の流れを簡単に紹介しました。

中学校卒業後には多様な学びの場が広がっています。そこで学ぶ内容は多様です。上級学校進学に向け、教科の内容を深化させていく学校もあれば、就職に役立てるために専門的な知識や技能を身につける学校もあります。時代や社会の流れの中で少しずつ姿を変えてきました。

中学卒業後にどこに進学するかは将来の職業選択に大きく関わります。そこで学ぶ内容や人との出会いが将来の夢や指針を形づくるからです。今、中学校で学んでいます。「この点数や学力で行ける学校は?」という考え方では選択肢が狭められます。「将来こんな仕事に就きたい。そのためにはここに進学したい。」そんな強い意志を持ち過ごしてほしい2年生です。

【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
 ■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
 電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338